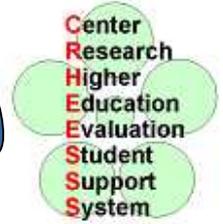


# 週刊センターニュース No.212



第 212 号 (2008 年 6 月 23 日) 毎週月曜日発行  
発行：金沢大学 大学教育開発・支援センター  
URL：http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou\_rche/index.htm

## 第 188 回共同学習会のご案内

日時：7月2日(水) 16時30分～18時

場所：角間キャンパス総合教育1号館 2階大会議室

報告1：グループ学習と相互評価を取り入れた「一歩進んだPC活用講座」の設計とその実践

松本豊司(総合メディア基盤センター)

概要：今回紹介させていただくのは、平成19年度後期、平成20年度前期に開講された(開講中の)選択科目「一歩進んだPC活用講座」の授業設計とその実践結果についてである。我々は、PCの1歩進んだ活用方法を単に教えるのではなく、グループ学習を通じて選択課題を協調して成し遂げ、互いに刺激しあって技術を磨き、実社会で要求される能力を初期の段階で体得させることを目指した。また、対象が1、2年生中心であることを考慮して、教員と学生が評価基準を共有し、互いにぶれなく実習を進めることが重要と考えた。この目的でルーブリックを授業に導入し、グループ課題の作成を行い、プレゼンにはこれを用いて学生間で相互評価を行なわせた。他のグループの発表を聞きながら、相互評価を行なうことにより、他グループの良い点をしっかりと把握していることがアンケートで確認できた。授業全体の評価についても80%以上の学生が良好な評価を行なった。

報告2：学生・教員・職員間相互コミュニケーション促進を図る

ポータルシステムによるFD活動支援

鎌田康裕(大学教育開発・支援センター)

概要：7月5日、私立大学情報教育協会 全国大学IT活用教育方法研究発表会にて、アカンサポータルを利用したFD活動の実践例を報告します。本実践では、学生・教員間における情報共有の推進を図るため、教員への活用支援活動や学生の相互学習環境の整備を行いました。発表では、これらの効果と今後のFD活動支援に向けた課題を紹介します。

## FDとICTはどうつながるのか

設置基準改正により、今年度から学部レベルにおいてもFDが義務化された。

大学設置基準第25条の三

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

「大学は、当該大学の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。」

このFD義務化とは、従来、行われてきた以下のようなFD活動を組織として推進することを意味している。

- a. 新任教員のための研修会
- b. 新任教員研修以外の教員のための研修会
- c. 教員相互の授業参観
- d. 教員相互による授業評価
- e. 教育方法改善のための講演会の開催

#### f. 教育方法改善のための授業検討会の開催

しかし、金沢大学での上記各種 FD 活動について部局により差があることも事実である。この差は、部局毎の教育目標、教育方法の差に起因する部分もあるが、それぞれの活動が単発的、任意参加によるものであり、活動内容、活動成果に関する情報が部局構成員、ひいては全学構成員の間で十分共有されてこなかったこともその一因である。工学部、法務研究科等、積極的に FD 活動を推進し、成果をあげている部局においては、FD 活動に関する情報共有も進んでいる。

FD 活動に限らず、組織的活動において重要なことは、情報交換、情報共有、情報交流である。個別の FD 活動について、その活動内容、成果等を、構成員なら誰でも見られる形で用意しておけば、(少なくとも部局における)構成員間における FD 活動に対する共通認識、合意形成に役立ち、組織的 FD 活動推進に大いに役立つと思われる。

一方、金沢大学では、平成 16 年度採択の現代 GP をきっかけとし、常設の組織として平成 19 年度に設置された ICT 教育推進室が、今年度からは FD 義務化に対応し FD・ICT 教育推進室となった。この FD・ICT 教育推進室は従来型 FD 活動の支援だけでなく、アカンサスポータルを活用した FD 活動の支援も行っている。このアカンサスポータルは、ID、パスワードで管理された空間で、ブラウザさえあればどこからでもアクセス可能であり、従来は、事務部門へ行かなければ入手出来なかった各種情報を構成員間で共有することも可能である。より具体的には、アカンサスポータルでは、関連資料の掲載、テーマ毎に電子会議室で意見交換などが行えるため、非同期による委員会開催も可能となる。メールでは添付しきれない情報や紛れてしまう情報についても、アカンサスポータル上では簡単に利用できる。上記 a.から h.の活動は、一般に狭義の FD 活動とされるが、研究、社会貢献、管理運営までを含む広義の FD 活動においても、構成員間での情報共有は重要であり、大学全体の組織力を上げるために必須の要件であり、これらについてもアカンサスポータルが便利である。研究面では、共同研究者間での情報共有、連絡体制整備などが、社会貢献、管理運営面では、各種委員会等会議体における議事録、資料等掲載による情報共有、各種申請等インターフェース統一による作業効率向上などがアカンサスポータル活用により実現可能となる。

このようにポータルの活用は、狭義の FD 活動、学生とのコミュニケーション促進といった教育面だけでなく、研究、社会貢献、管理運営までを含む広義の FD 活動、ひいては大学全体の活動を活性化させ、組織力強化に有効であると思われる。

なお、FD・ICT 教育推進室では、各種 FD 活動、アカンサスポータル活用に関する相談をお待ちしています。

#### FD・ICT 教育推進室

堀井 (horii@ge.kanazawa-u.ac.jp)、内線 5858 または

#### FD 担当特任助教

- ・ 末本 哲雄 (suwe@el.kanazawa-u.ac.jp)
- ・ 鎌田 康裕 (kamada@el.kanazawa-u.ac.jp) 内線 5804

まで、ご連絡ください。

(文責 評価システム研究部門 堀井祐介)

### 「アカンサスFD」に新コーナーを設けました

アカンサスポータル内の【アカンサスFD】に、新たに「各分野別FDのために」と「ICTを活用したFDのために」を設けました。アカンサスFDの画面右側にある【解説】に掲載しています。各コーナーともにそれぞれ、分野ごとにページを作成し、授業改善等に役に立つ情報を提供していきたいと思っております(例えば、「ICTを活用したFDのために」では、私立大学情報教育協会WEBサイト(<http://www.juce.jp/>)に掲載されている、各大学におけるICTを活用した実践報告(事例集)が参照できます)。ご活用いただければ幸いです。